

日々自動更新する安全在庫計算機能搭載 VAN 在庫管理システム構築への取り組み
～ 社員教育の成果とシステム効率化の両側面からの報告～

発表形式 口頭発表

演題区分 薬学教育

発表者 堀淵 浩二(ほりぶち こうじ)

共同研究者 爲則 利之、福井 愛子、小畑 幸久、篠原 靖幸、明松 寿郎、横井 透
ジオ薬局グループ、テイオーファーマシー株式会社
〒760-0005 高松市宮脇町 1-1-23 TEL:087-861-0800

【目的】数百品目の医薬品が備蓄されている昨今、各々に適正な在庫を維持するには莫大な時間と労力を要するのは想像に難くない。弊社では、過去の学会において弊社社員が Micro Soft ACCESS を用い独自開発した .在庫管理・発注システム、 .デッドストックシステムについて、「人・金・物・時間」の観点から報告してきた。さて、今回某ソフト開発企業と共同で、当該企業開発の .「VANを介する在庫管理ソフト」に上記 . に係るノウハウを提供し、 . . の融合、機能追加を試みた。更に、技術的問題から、アイデアのみに留めておいた . 「日々自動更新する安全在庫計算機能」についても新規機能として搭載した。本学会では続報として、係る過程における有用性、発展性を社員教育の成果とシステム効率化の両側面から検討、報告する。

【方法】具体的には弊社が、 . . に関する下記ノウハウの提供を行い、 を有する某ソフト開発企業のベースソフトに機能を追加した。その後、融合されたソフトの試験導入を行い、有用性、発展性について検討を行なった。尚、作業、技術的なサポートは某ソフト開発企業が担当した。 .発注量の自動計算・・・安全在庫を割った薬品の示適発注量を計算し、月末在庫を安全在庫付近に収束させるためのノウハウ、計算式の提供 .デッドストックの自動ピックアップ・・・過剰在庫、不働品の自動ピックアップ、効率的再利用のためのノウハウ、計算式の提供(但し自動再分配機能は今回提供せず) .現在在庫量の自動算出・・・VAN - レセプトコンピュータ連携による現在在庫量の自動算出の機能とネットワーク機能の提供を受けた。 .更新する安全在庫の計算機能・・・日々可変する安全在庫量の自動更新とその利用方法に係るアイデア、ノウハウ、計算式の提供

【結果/結論】機能融合させることにより、 ~ が相乗的に作用し、前回発表以上の更なる正確性、効率の向上が果たされた。安全在庫は日々変動するものであり、定期的な見直しが必要となるが、更新には多大な労力を要する。今回の機能追加により、日々可変する安全在庫を日々自動更新させ、安全在庫量を割った薬品を自動ピックアップ、更にそれら薬品が月末に安全在庫収束するための発注量を自動計算(可変発注量計算)する一連の流れが構築できた。(これら機能は不働点、過剰品の未然防止にも寄与する。)発注・仕入に於いてはVANで管理し、発注業務と在庫管理業務を一元化した。今回のシステム開発は誰もが簡便且つ正確に行なえる在庫管理システムの構築を目指しており、今まで以上に薬剤師や事務員の参加を促しコストや時間への意識改革が果たされた。

更にはこのシステムはレセプトコンピュータのメーカーを問わず運用することが可能であり、ネットワーク機能を利用した場合、より簡便且つ正確な地域内の薬局同士で薬の分譲や不良在庫処理が期待できるものと思われる。